

平成28年3月期 第2四半期 (中間期)

決算説明資料

株式会社 沖繩銀行

【目次】

頁

I. 平成28年3月期 第2四半期(中間期) 決算ダイジェスト		
1. 損益の状況	単	1
2. 主要資産・負債の状況	単	2
3. 経費	単	5
4. 資産健全化の状況	単	6
5. 自己資本比率(国内基準)の状況	単・連	8
6. 業績予想	単・連	9
II. 平成28年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況		
1. 損益状況	単・連	10
2. 業務純益	単	12
3. 利鞘	単	12
4. 有価証券関係損益	単	13
5. 自己資本比率	単・連	13
6. ROE	単	14
III. 貸出金等の状況		
1. リスク管理債権の状況	単・連	15
2. 貸倒引当金の状況	単・連	16
3. リスク管理債権に対する保全状況	単・連	16
4. 金融再生法開示債権	単・連	17
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単・連	17
6. 引当率・保全率の状況	単・連	18
7. 自己査定結果及び債権分類額(率)の状況	単	19
8. 自己査定結果と開示債権との関係	単	20
9. 業種別貸出状況等	単	21
(1) 業種別貸出金	単	21
(2) 業種別リスク管理債権	単	21
(3) 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高等	単	22
(4) 生活密着型ローン残高	単	23
(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単	23
10. 信用保証協会保証付融資	単	23
11. 系列ノンバンク向け融資残高	単	23
12. 預金、貸出金の残高	単	23
13. 個人・法人預金の種類別内訳(平残)	単	24
IV. 業績予想等		
1. 平成28年3月期通期の業績予想	単	24
2. 人員と店舗の状況	単	24
3. 保有株式について	単	25
4. 不良債権について	単	25
(1) 処理損失	単	25
(2) 残高	単	25
(3) 最終処理と新規発生	単	26
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単	26
(5) 不良債権比率(金融再生法基準)	単・連	26

I. 平成28年3月期 第2四半期(中間期) 決算ダイジェスト

1. 損益の状況(単体)

○ 概況(前年同期比)

経常収益は、貸出金利息は減少したものの、有価証券利息配当金、役務取引等収益及び株式等売却益の増加などにより、前年同期比15億82百万円増加の195億19百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の増加などにより、前年同期比6億83百万円増加の53億81百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益及び有価証券関係損益の増加に加え、与信費用の減少などにより、前年同期比23億2百万円増加の61億46百万円となりました(増収増益)。また、最終の中間純利益は、前年同期比10億63百万円増加の41億8百万円となりました。

(単位:百万円)

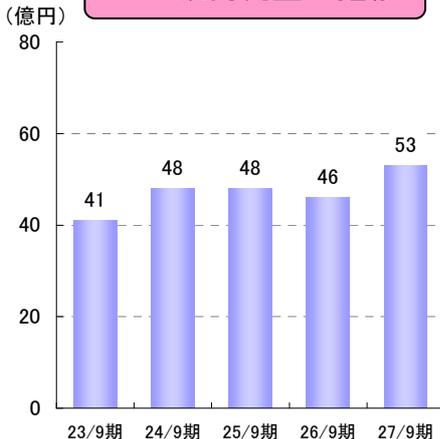
科 目	No.	27/9期		26/9期
			26/9期比	
経常収益	1	19,519	1,582	17,936
業務粗利益	2	15,911	760	15,151
資金利益	3	14,173	510	13,662
役務取引等利益	4	1,361	195	1,165
うち信託勘定不良債権処理額	5	-	△ 43	43
その他業務利益	6	377	54	322
うち国債等債券関係損益	7	353	108	245
経費(除く臨時処理分)	8	10,176	△ 74	10,251
うち人件費	9	4,847	△ 69	4,916
うち物件費	10	4,431	△ 191	4,623
コア業務純益(A)	11	5,381	683	4,698
一般貸倒引当金繰入額	12	46	△ 316	362
業務純益(B)	13	5,688	1,151	4,537
臨時損益	14	457	1,151	△ 693
うち償却債権取立益	15	158	100	57
うち株式等関係損益	16	659	603	56
うち不良債権処理額	17	409	△ 499	908
経常利益	18	6,146	2,302	3,843
特別損益	19	△ 8	43	△ 51
うち固定資産処分損益	20	△ 8	42	△ 51
税引前中間純利益	21	6,138	2,345	3,792
法人税等合計	22	2,029	1,282	747
中間純利益	23	4,108	1,063	3,044

(注) 不良債権処理総額
【算式】 No. (17+5)
27/9期 409百万円
26/9期 952百万円

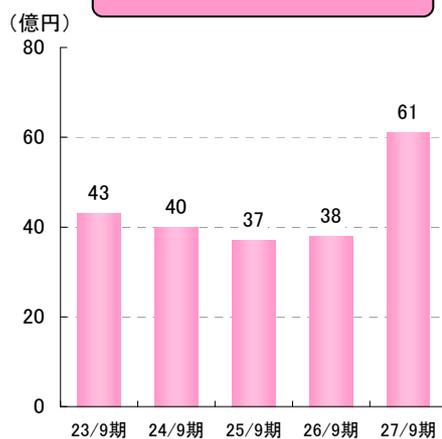
《用語解説》
(A) コア業務純益
【算出】 No. (13+12-7+5)
業務純益から特殊な変動要因を除いた、銀行本来の業務による収益力を表す。

(B) 業務純益
【算出】 No. (2-8-12)
一般企業の営業利益に相当する利益を表す。

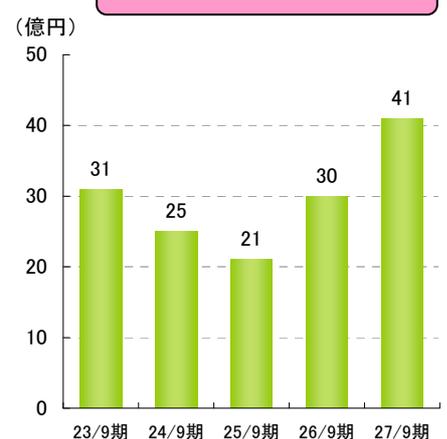
コア業務純益の推移



経常利益の推移



中間純利益の推移



2. 主要資産・負債の状況(単体)

(1) 貸出金

○ 概況(前年同期比)

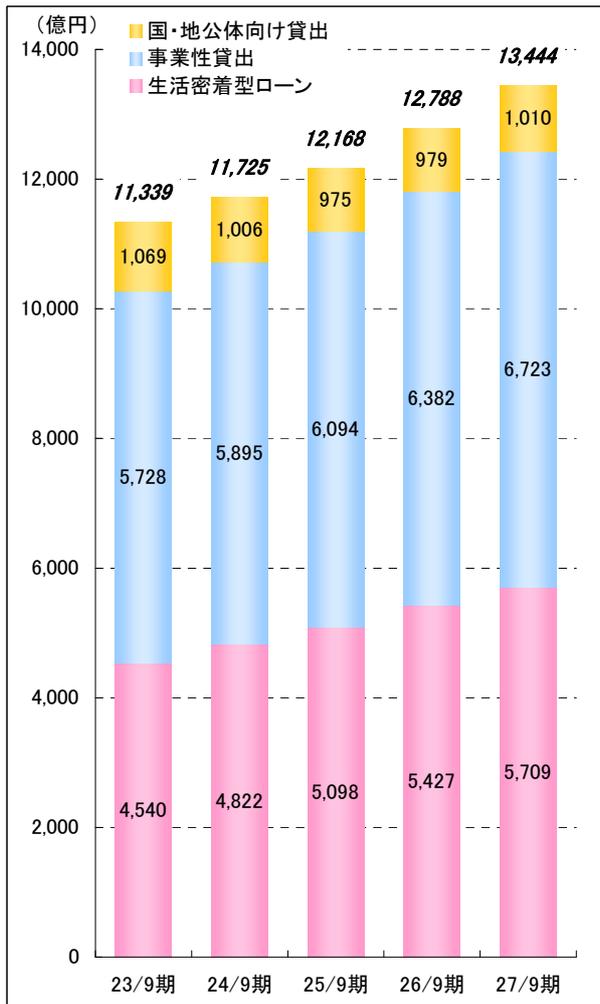
貸出金は、生活密着型ローンの営業強化を図った結果、住宅ローンやアパートローンが順調に増加したほか、SR(ストロングリレーション)活動により取引先との関係強化に努め、事業性貸出も増加したことから、期末残高は銀行・信託勘定合計で前年同期比655億円増加の1兆3,444億円となりました。

(単位: 億円、%)

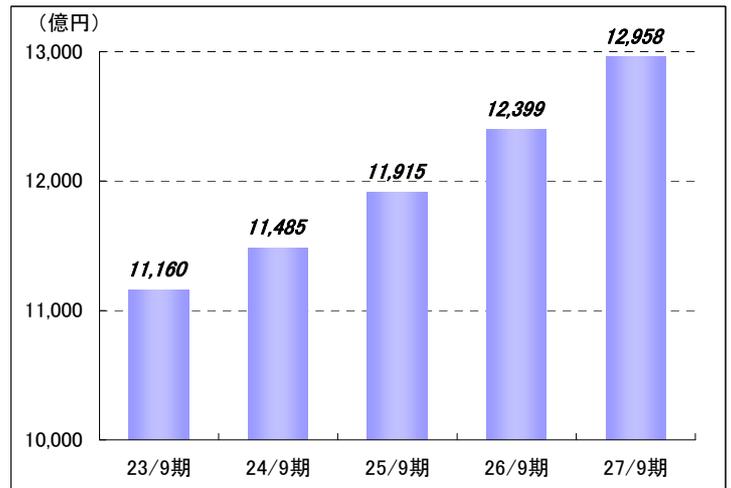
	27/9期	27/3期比		26/9期比		27/3期	26/9期
		増減額	増減率	増減額	増減率		
貸出金(期末残高)	13,444	305	2.32	655	5.12	13,138	12,788
事業性貸出	6,723	153	2.33	341	5.34	6,570	6,382
生活密着型ローン	5,709	141	2.53	282	5.21	5,568	5,427
住宅ローン	5,049	138	2.81	272	5.69	4,910	4,777
国・地公体向け貸出	1,010	10	1.05	31	3.17	999	979
貸出金(平均残高)	12,958	408	3.25	558	4.50	12,549	12,399

(注) 信託勘定を含んでおります。

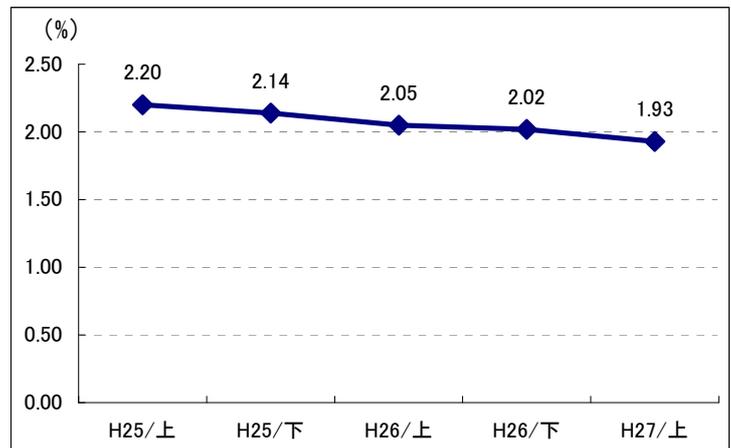
貸出金(期末残高)の推移



貸出金(平均残高)の推移



貸出金利回りの推移



(※) 利回りには信託勘定を含んでおりません。

(2) 預金

○ 概況(前年同期比)

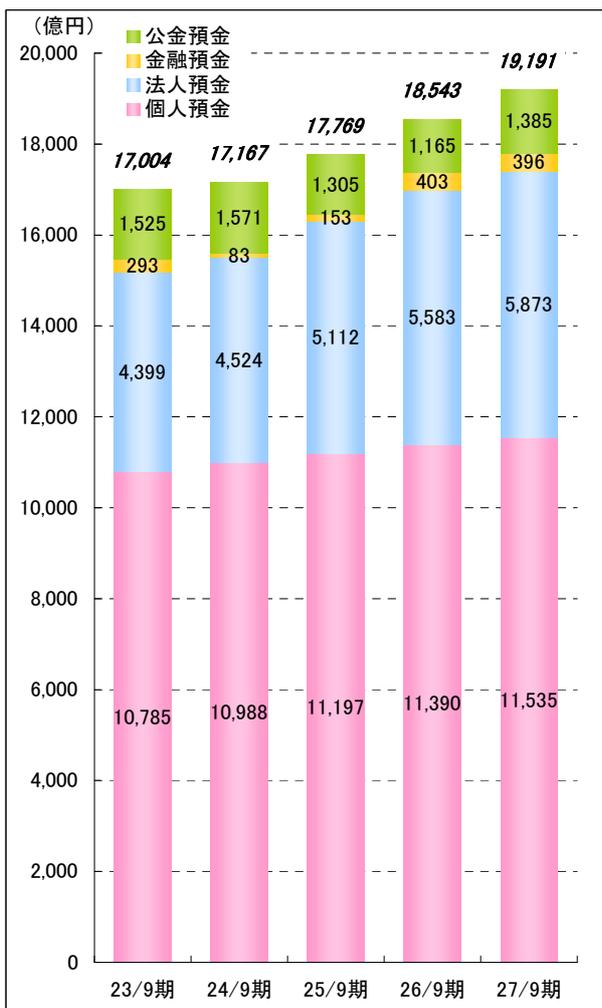
預金は、年金、給与振込等の営業強化により個人預金が順調に増加したほか、取引先への反復訪問継続をはじめとするSR(ストロングリレーション)活動により関係強化に努めた結果、法人預金も順調に増加したことなどから、期末残高は銀行・信託勘定合計で前年同期比648億円増加の1兆9,191億円となりました。

(単位：億円、%)

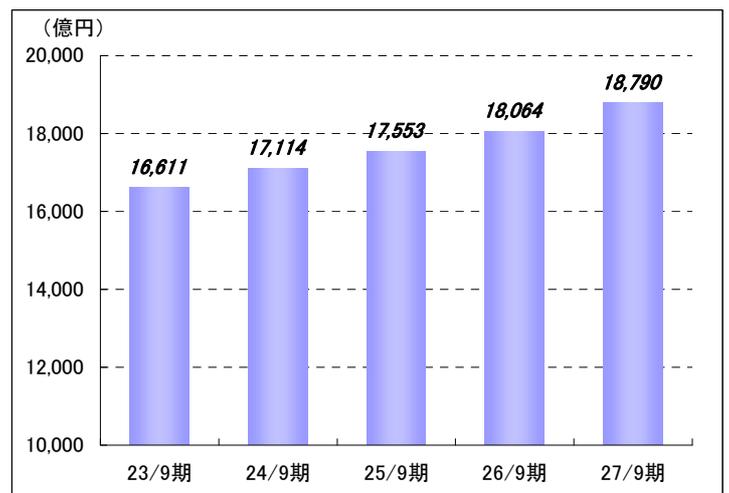
	27/9期	27/3期比		26/9期比		27/3期	26/9期
		増減額	増減率	増減額	増減率		
預金(期末残高)	19,191	536	2.87	648	3.49	18,654	18,543
個人	11,535	91	0.80	144	1.27	11,443	11,390
法人	5,873	248	4.41	290	5.20	5,625	5,583
金融	396	△62	△13.62	△6	△1.71	459	403
公金	1,385	259	22.99	220	18.93	1,126	1,165
預金(平均残高)	18,790	658	3.62	725	4.01	18,131	18,064

(注) 信託勘定を含んでおります。

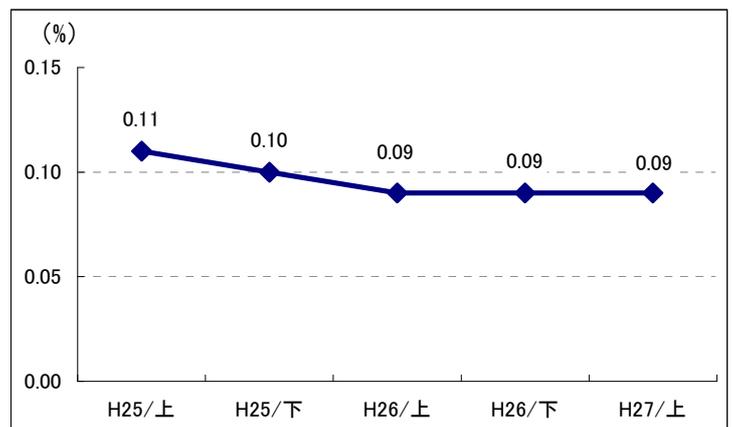
預金(期末残高)の推移



預金(平均残高)の推移



預金利回りの推移



(※) 利回りには信託勘定を含んでおりません。

(3) 有価証券

○ 概況(前年同期比)

有価証券は、国債、地方債など公共債を中心に、市場動向を睨みながら、資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、期末残高は前年同期比90億円増加の5,836億円となりました。
また、有価証券全体の評価損益は前年同期比29億円増加の196億円となりました。

【期末残高】

(単位：億円、%)

	27/9期	27/3期比		26/9期比		27/3期	26/9期
		増減額	増減率	増減額	増減率		
有価証券	5,836	△ 218	△ 3.61	90	1.57	6,055	5,745
債券	4,672	△ 415	△ 8.17	△ 433	△ 8.48	5,088	5,105
株式	251	△ 24	△ 8.99	20	8.81	275	230
その他	912	221	32.09	503	122.94	691	409

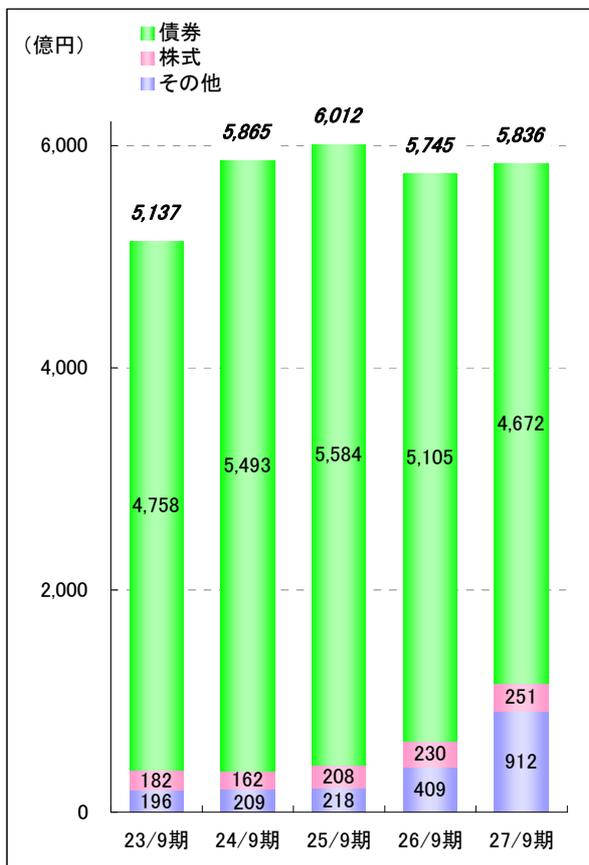
【評価損益】

(単位：億円、%)

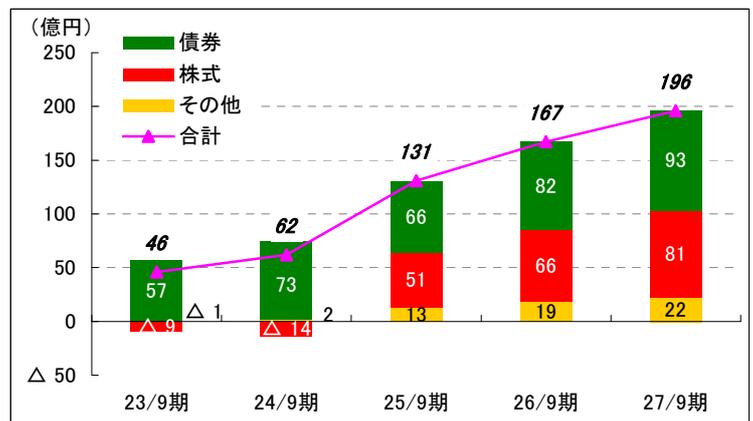
	27/9期	27/3期比		26/9期比		27/3期	26/9期
		増減額	増減率	増減額	増減率		
有価証券	196	△ 42	△ 17.62	29	17.43	239	167
債券	93	2	2.83	11	14.32	91	82
株式	81	△ 23	△ 22.65	14	22.54	104	66
その他	22	△ 21	△ 48.63	2	13.24	43	19

(注)その他には、外国証券、投資信託が含まれております。

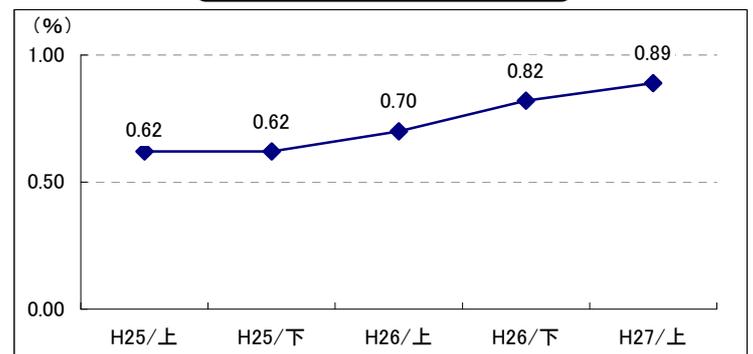
有価証券残高の推移



評価損益の推移



有価証券利回りの推移



(4) 預かり資産

○ 概況(前年同期比)

預かり資産は、量的金融緩和の継続による金利水準低下の影響などから国債は減少したものの、投資信託は新ファンドの導入や各種キャンペーン、個人年金保険等は外貨建て保険の販売が好調であったことから、全体では、前年同期比176億円増加の1,797億円となりました。

【期末残高】

(単位：億円)

	27/9期			27/3期	26/9期
		27/3期比	26/9期比		
預かり資産	1,797	53	176	1,744	1,621
国債	127	△ 40	△ 62	168	190
投資信託	449	△ 17	26	467	423
個人年金保険等	1,220	111	213	1,108	1,006

《預かり資産》

お客様の資産運用商品を総称して、「預かり資産」と呼んでいます。

預かり資産の推移



3. 経費(単体)

○ 概況(前年同期比)

人件費は、時間外勤務手当及び退職給付費用の減少などにより、前年同期比69百万円減少の48億47百万円となりました。

物件費は、預金保険料及び事務委託費の減少などにより、前年同期比1億91百万円減少の44億31百万円となりました。

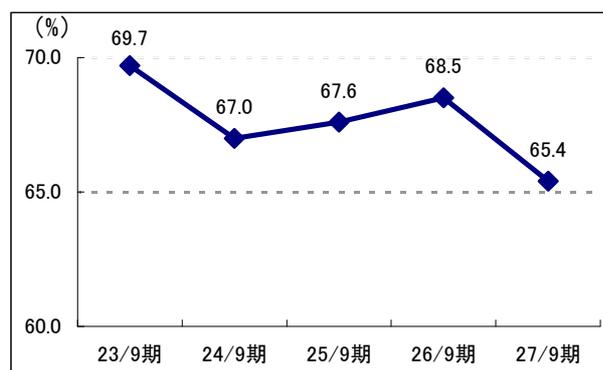
税金は、消費税及び外形標準課税の増加により、前年同期比1億85百万円増加の8億97百万円となりました。

【経費の内訳等】

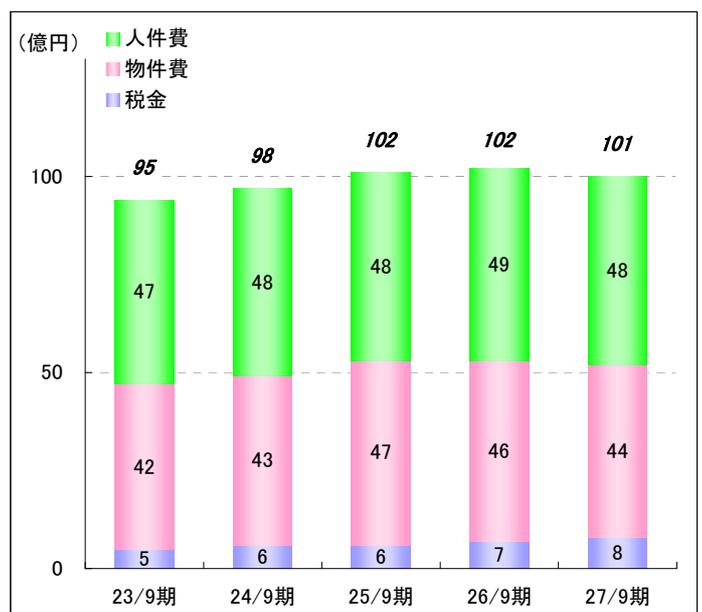
(単位：百万円、%)

	27/9期			26/9期
		26/9期比		
経費	10,176	△ 74		10,251
人件費	4,847	△ 69		4,916
物件費	4,431	△ 191		4,623
税金	897	185		711
コア業務粗利益	15,558	608		14,949
コアOHR	65.4	△ 3.1		68.5

コアOHRの推移



経費の推移



4. 資産健全化の状況(単体)

(1) 与信費用

○ 概況(前年同期比)

与信費用は、貸倒実績率の低下などによる貸倒引当金(一般・個別)の減少及び貸出金償却の減少などにより、前年同期比8億58百万円減少の4億55百万円となりました。

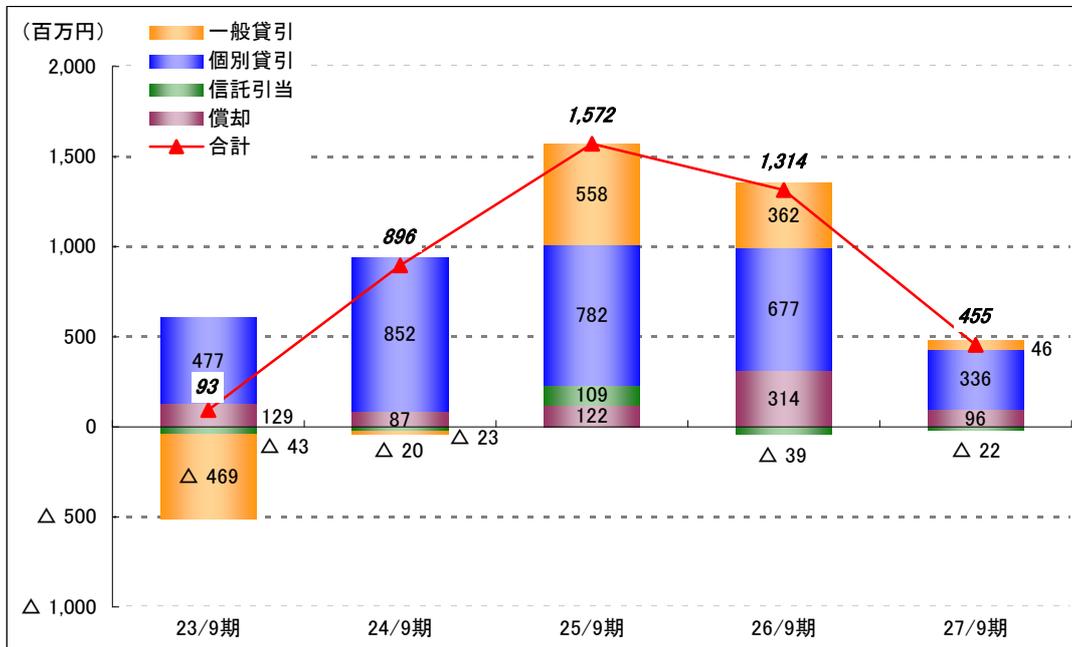
(単位:百万円)

	27/9期	26/9期比	26/9期
	与信費用	455	△ 858
一般貸倒引当金繰入額	46	△ 316	362
不良債権処理額	409	△ 542	952
個別貸倒引当金繰入額	336	△ 341	677
信託元本補填引当金繰入額	△ 22	16	△ 39
貸出金償却	96	△ 217	314

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 与信費用とは、貸出金等の債権保全に係る費用(一般貸倒引当金繰入額と不良債権処理額の合計)を指します。

与信費用の推移



(2) 開示債権

○ 概況(前年同期比)

金融再生法開示債権残高は前年同期比14億円増加の221億円、開示債権比率は前年同期比0.03ポイント上昇の1.63%となりました。

開示債権比率は低い水準となっており、銀行の資産の健全性に問題はございません。

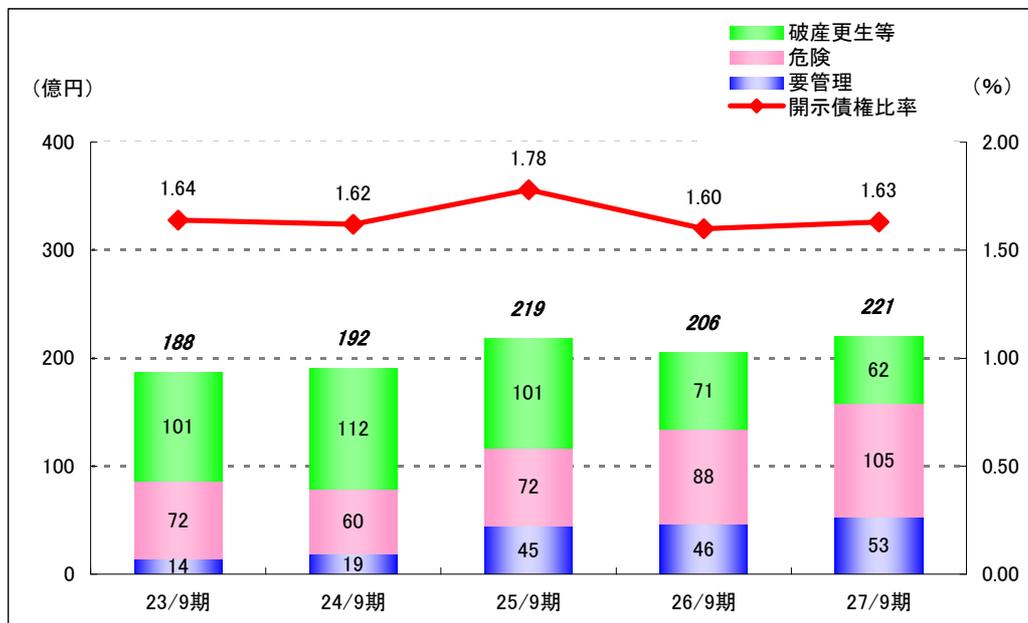
(金融再生法基準)

(単位：億円、%)

	27/9期			(参考)	27/3期	26/9期
		27/3期比	26/9期比	部分直接償却 実施前		
開示債権(a)	221	7	14	262	214	206
破産更生等債権	62	4	△8	102	58	71
危険債権	105	1	16	105	103	88
要管理債権	53	1	6	53	52	46
正常債権	13,331	293	636	13,331	13,037	12,694
総与信額(b)	13,553	301	651	13,593	13,251	12,901
開示債権比率a/b	1.63	0.02	0.03	1.92	1.61	1.60

(注)信託勘定を含んでおります。

開示債権(単体)の推移



5. 自己資本比率(国内基準)の状況

○ 概況(前年同期比、単体)

自己資本比率は、利益剰余金の増加により自己(コア)資本額が増加したものの、貸出金の増加に伴いリスクアセットが増加したことなどにより、前年同期比0.3ポイント低下の11.16%となりました。

【単体】

(単位：億円、%)

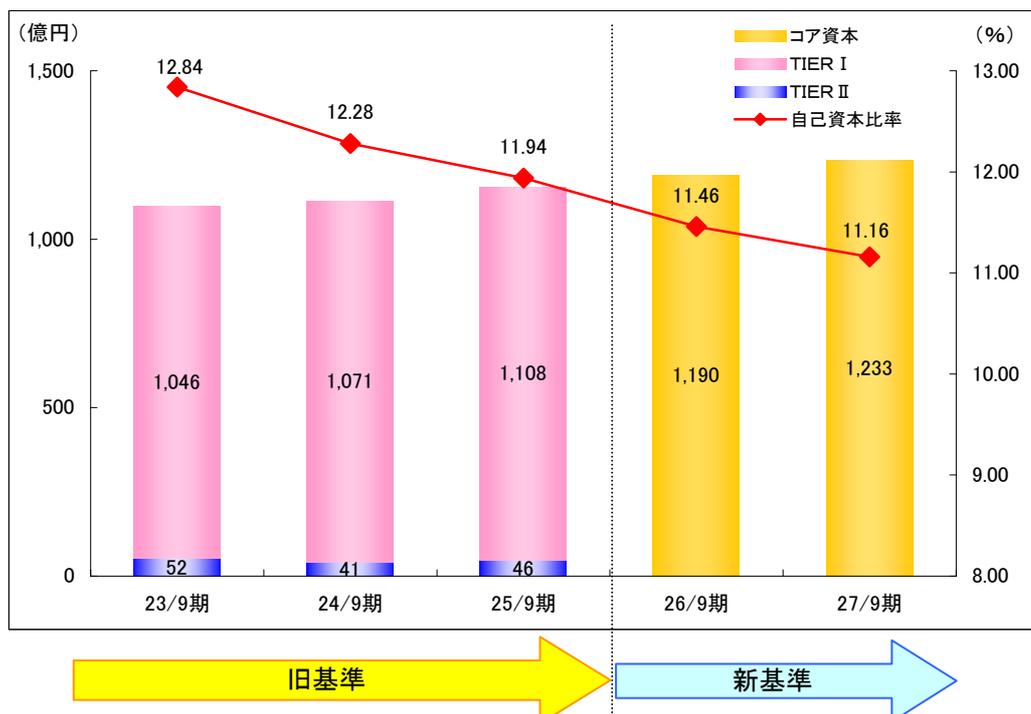
	27/9期		27/3期	26/9期
	27/3期比	26/9期比		
自己(コア)資本額(a)	1,233	35	43	1,198
基礎項目	1,236	35	46	1,201
調整項目(Δ)	3	Δ 0	3	-
リスクアセット(b)	11,054	294	670	10,759
自己資本比率 a/b	11.16	0.03	Δ 0.30	11.13

【連結】

(単位：億円、%)

	27/9期		27/3期	26/9期
	27/3期比	26/9期比		
自己(コア)資本額(a)	1,351	37	45	1,314
基礎項目	1,355	37	48	1,317
調整項目(Δ)	3	Δ 0	3	-
リスクアセット(b)	11,257	288	669	10,969
自己資本比率 a/b	12.00	0.02	Δ 0.33	11.98

自己資本比率(単体)の推移



6. 業績予想

【単体の損益予想（通期）】

○ 経常収益

有価証券利息配当金、役務取引等収益及び株式等売却益の増加などにより、経常収益は前年比12億円増加の377億円を見込んでおります。

○ 業務純益

資金利益及び役務取引等利益は増加するものの、一般貸倒引当金繰入額及び経費の増加などにより、業務純益は前年比10億円減少の102億円を見込んでおります。

○ 経常利益

株式等関係損益は増加するものの、業務純益の減少などにより、経常利益は前年比7億円減少の92億円を見込んでおります。

○ 当期純利益

最終の当期純利益は、前年比6億円減少の61億円を見込んでおります。

【単体】

(単位：億円)

	28/3期予想	
	前年比	
経常収益	377	12
コア業務純益	102	△ 4
業務純益	102	△ 10
経常利益	92	△ 7
当期純利益	61	△ 6
不良債権処理額	20	0

※不良債権処理額は、信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位：億円)

	28/3期予想	
	前年比	
経常収益	520	30
経常利益	106	△ 8
親会社株主に 帰属する当期純利益	64	△ 9

【開示債権比率（金融再生法基準）】

28/3期末予想	
単体	連結
1%台	1%台

【自己資本比率】

28/3期末予想	
単体	連結
11%台	11%台

※業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。よって、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

II. 平成28年3月期 第2四半期(中間期) 決算の概況

1. 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

		27年9月期	26年9月期比	26年9月期
業	務粗利益	15,911	760	15,151
	国内業務粗利益	15,471	619	14,851
	資金利益	13,806	349	13,456
	役務取引等利益	1,342	200	1,142
	うち信託報酬	203	34	169
	信託勘定不良債権処理額①	-	△43	43
	その他業務利益	322	69	252
	国際業務粗利益	440	140	299
	資金利益	366	160	206
	役務取引等利益	18	△4	23
	その他業務利益	54	△15	70
経	費(除く臨時処理分)	10,176	△74	10,251
	人件費	4,847	△69	4,916
	物件費	4,431	△191	4,623
	税金	897	185	711
業	務純益(一般貸倒繰入前)	5,735	835	4,899
	除く国債等債券関係損益(5勘定戻)	5,381	726	4,654
	一般貸倒引当金繰入額②	46	△316	362
業	務純益	5,688	1,151	4,537
	うち国債等債券関係損益(5勘定戻)	353	108	245
臨	時損益	457	1,151	△693
	うち償却債権取立益	158	100	57
	うち株式等関係損益(3勘定戻)	659	603	56
	うち不良債権処理損失③	432	△515	948
	個別貸倒引当金繰入額	336	△341	677
	貸出金償却	96	△174	271
	うち信託元本補填引当金戻入益④	22	△16	39
経	常利益	6,146	2,302	3,843
特	別損益	△8	43	△51
	うち固定資産処分損益	△8	42	△51
税	引前中間純利益	6,138	2,345	3,792
	法人税、住民税及び事業税	2,062	1,285	776
	法人税等調整額	△33	△3	△29
	法人税等合計	2,029	1,282	747
	中間純利益	4,108	1,063	3,044
不良債権処理額(①+③-④)		409	△542	952
与信費用(①+②+③-④)		455	△858	1,314

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(単位:百万円)

	27年9月期	26年9月期比	26年9月期
連結業務粗利益	17,435	918	16,516
資金利益	14,557	522	14,034
信託報酬	203	34	169
役務取引等利益	1,397	161	1,236
その他業務利益	1,277	200	1,076
営業経費	10,760	58	10,702
貸倒償却引当費用	939	△756	1,695
一般貸倒引当金繰入額	91	△414	505
個別貸倒引当金繰入額	548	△199	747
貸出金償却	299	△133	433
債権売却損	-	△8	8
株式等関係損益	659	603	56
その他	233	1	231
経常利益	6,628	2,221	4,406
特別損益	△8	43	△51
うち固定資産処分損益	△8	42	△51
税金等調整前中間純利益	6,619	2,264	4,355
法人税、住民税及び事業税	2,237	1,194	1,042
法人税等調整額	27	23	3
法人税等合計	2,265	1,218	1,046
中間純利益	4,354	1,046	3,308
非支配株主に帰属する中間純利益	133	△90	224
親会社株主に帰属する中間純利益	4,221	1,137	3,084

(注) 連結業務粗利益=資金利益+金銭の信託運用見合費用[金銭の信託に係る資金調達費用]+信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	6,600	1,277	5,322
--------	-------	-------	-------

(注) 連結業務粗利益-営業経費(除く臨時処理分)-一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	7	1	6
--------	---	---	---

2. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	27年9月期	26年9月期	
		26年9月期比	26年9月期
業務純益(一般貸倒繰入前)	5,735	835	4,899
職員一人当たり(千円)	5,218	788	4,430
業務純益	5,688	1,151	4,537
職員一人当たり(千円)	5,176	1,073	4,102

(注) 職員数は期中平均人員(出向者除く)を使用しております。

3. 利鞘【単体】

(1) 総合

(単位:%)

	27年9月期	26年9月期	
		26年9月期比	26年9月期
資金運用利回(A)	1.55	△ 0.07	1.62
貸出金利回	1.93	△ 0.12	2.05
有価証券利回	0.89	0.19	0.70
資金調達原価(B)	1.19	△ 0.06	1.25
預金等利回	0.09	0.00	0.09
外部負債利回	0.10	0.00	0.10
総資金利鞘(A)-(B)	0.36	△ 0.01	0.37

(注) 「外部負債」=コールマネー+売渡手形+借入金

(2) 国内部門

(単位:%)

	27年9月期	26年9月期	
		26年9月期比	26年9月期
資金運用利回(A)	1.54	△ 0.07	1.61
貸出金利回	1.93	△ 0.12	2.05
有価証券利回	0.82	0.17	0.65
資金調達原価(B)	1.15	△ 0.06	1.21
預金等利回	0.08	△ 0.01	0.09
外部負債利回	0.10	0.00	0.10
総資金利鞘(A)-(B)	0.39	△ 0.01	0.40

(注) 「外部負債」=コールマネー+売渡手形+借入金

4. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	27年9月期	26年9月期比	
		26年9月期	26年9月期
有価証券関係損益	1,012	711	301
国債等債券関係損益(5勘定戻)	353	108	245
売却益	448	148	299
償還益	-	-	-
売却損	94	40	54
償還損	-	-	-
償却	-	-	-
株式等関係損益(3勘定戻)	659	603	56
売却益	811	738	73
売却損	145	128	16
償却	7	6	0

5. 自己資本比率

(1) 自己資本比率(国内基準)【単体】

(単位:百万円,%)

	27年9月末	27年3月末比		27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
①自己資本比率	11.16	0.03	△ 0.30	11.13	11.46
②コア資本に係る基礎項目	123,667	3,507	4,639	120,160	119,028
うち土地の再評価差額の45%	1,061	0	△ 117	1,061	1,179
うち一般貸倒引当金	3,223	46	△ 688	3,176	3,911
うち負債性資本調達手段等	-	-	-	-	-
③コア資本に係る調整項目	302	△ 4	302	307	-
④自己資本 ②-③	123,365	3,512	4,336	119,852	119,028
⑤リスクアセット	1,105,411	29,429	67,059	1,075,982	1,038,352

(2) 自己資本比率(国内基準)【連結】

(単位:百万円,%)

	27年9月末	27年3月末比		27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
①自己資本比率	12.00	0.02	△ 0.33	11.98	12.33
②コア資本に係る基礎項目	135,532	3,766	4,889	131,765	130,642
うち土地の再評価差額の45%	1,061	0	△ 117	1,061	1,179
うち一般貸倒引当金	4,270	91	△ 799	4,179	5,070
うち負債性資本調達手段等	-	-	-	-	-
③コア資本に係る調整項目	337	△ 9	337	346	-
④自己資本 ②-③	135,195	3,776	4,552	131,418	130,642
⑤リスクアセット	1,125,758	28,805	66,939	1,096,952	1,058,818

6. ROE【単体】

(単位:%)

	27年9月期	26年9月期比	
		26年9月期	26年9月期
業務純益ベース	8.44	1.17	7.27
コア業務純益ベース	7.99	0.46	7.53
中間純利益ベース	6.10	1.22	4.88

(算式)

$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、中間純利益)}}{(\text{期首純資産の部合計} + \text{中間期末純資産の部合計})} \times 365 \div 183 \times 100$$

※ コア業務純益＝業務純益－債券5勘定戻＋一般貸倒引当金繰入額＋信託勘定償却額等

※ 純資産の部合計は、新株予約権を除いております。

(参考)

ROE(株主資本ベース)【単体】

(単位:%)

	27年9月期	26年9月期比	
		26年9月期	26年9月期
業務純益ベース	9.60	1.61	7.99
コア業務純益ベース	9.08	0.81	8.27
中間純利益ベース	6.93	1.57	5.36

(算式)

$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、中間純利益)}}{(\text{期首株主資本合計} + \text{中間期末株主資本合計})} \times 365 \div 183 \times 100$$

Ⅲ. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施(前・**後**)
未収利息不計上基準(自己査定基準)

【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	720	78	△ 348	642	1,069
延滞債権額	15,961	514	1,162	15,446	14,799
3ヶ月以上延滞債権額	486	292	109	194	377
貸出条件緩和債権額	4,902	△ 157	590	5,060	4,312
合計	22,071	728	1,512	21,343	20,558

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

貸出金残高(末残)	1,344,428	30,540	65,536	1,313,887	1,278,891
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比					
破綻先債権	0.05	0.01	△ 0.03	0.04	0.08
延滞債権	1.18	0.01	0.03	1.17	1.15
3ヶ月以上延滞債権	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02
貸出条件緩和債権	0.36	△ 0.02	0.03	0.38	0.33
合計	1.64	0.02	0.04	1.62	1.60

(注)信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	740	60	△ 357	679	1,097
延滞債権額	16,426	552	1,072	15,874	15,354
3ヶ月以上延滞債権額	486	292	109	194	377
貸出条件緩和債権額	4,902	△ 157	590	5,060	4,312
合計	22,555	747	1,414	21,808	21,141

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

貸出金残高(末残)	1,331,991	29,731	63,783	1,302,260	1,268,207
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比					
破綻先債権	0.05	0.00	△ 0.03	0.05	0.08
延滞債権	1.23	0.02	0.02	1.21	1.21
3ヶ月以上延滞債権	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02
貸出条件緩和債権	0.36	△ 0.02	0.02	0.38	0.34
合計	1.69	0.02	0.03	1.67	1.66

(注)信託勘定を含んでおります。

2. 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
貸倒引当金	7,674	46	△ 798	7,627	8,472
一般貸倒引当金	3,223	46	△ 688	3,176	3,911
個別貸倒引当金	4,451	0	△ 109	4,450	4,560

信託元本補填引当金	195	△ 22	△ 20	218	216
-----------	-----	------	------	-----	-----

【連結】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
貸倒引当金	10,807	246	△ 847	10,561	11,655
一般貸倒引当金	4,270	91	△ 799	4,179	5,070
個別貸倒引当金	6,536	154	△ 48	6,381	6,585

信託元本補填引当金	195	△ 22	△ 20	218	216
-----------	-----	------	------	-----	-----

3. リスク管理債権に対する保全状況

【単体】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
リスク管理債権額 (A)	22,071	728	1,512	21,343	20,558
保全額	18,967	117	△ 3	18,850	18,970
貸倒引当金 (B)	4,772	△ 42	△ 334	4,814	5,106
担保・保証等 (C)	14,195	159	330	14,035	13,864
保全率 (B+C)/(A)	85.93	△ 2.38	△ 6.34	88.31	92.27
貸倒引当金 (B/A)	21.62	△ 0.93	△ 3.21	22.55	24.83
担保・保証等 (C/A)	64.31	△ 1.45	△ 3.12	65.76	67.43

(注)信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
リスク管理債権額 (A)	22,555	747	1,414	21,808	21,141
保全額	19,437	136	△ 99	19,300	19,536
貸倒引当金 (B)	4,994	△ 82	△ 451	5,076	5,445
担保・保証等 (C)	14,443	219	351	14,223	14,091
保全率 (B+C)/(A)	86.17	△ 2.33	△ 6.24	88.50	92.41
貸倒引当金 (B/A)	22.14	△ 1.13	△ 3.61	23.27	25.75
担保・保証等 (C/A)	64.03	△ 1.19	△ 2.62	65.22	66.65

(注)信託勘定を含んでおります。

4. 金融再生法開示債権

部分直接償却の実施 (有)・無)

【単体】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,263	441	△ 848	5,822	7,111
危険債権	10,513	143	1,646	10,369	8,866
要管理債権	5,389	134	699	5,254	4,689
合計 (A)	22,166	719	1,498	21,446	20,667
正常債権	1,333,136	29,389	63,698	1,303,746	1,269,437
総与信残高 (B)	1,355,302	30,109	65,197	1,325,192	1,290,105
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.63	0.02	0.03	1.61	1.60
部分直接償却額	4,034	273	△ 330	3,760	4,365

(注)信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,719	460	△ 942	6,258	7,662
危険債権	10,541	143	1,642	10,398	8,898
要管理債権	5,389	134	699	5,254	4,689
合計 (A)	22,650	739	1,400	21,911	21,250
正常債権	1,320,226	28,559	62,041	1,291,666	1,258,185
総与信残高 (B)	1,342,877	29,298	63,441	1,313,578	1,279,435
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.68	0.02	0.02	1.66	1.66
部分直接償却額	4,914	464	△ 270	4,449	5,184

(注)信託勘定を含んでおります。

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
保全額 (C)	19,043	104	△ 21	18,938	19,064
貸倒引当金	4,829	△ 61	△ 362	4,890	5,192
担保・保証等	14,214	165	341	14,048	13,872

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C)/(A)	85.91	△ 2.39	△ 6.33	88.30	92.24
-------------	-------	--------	--------	-------	-------

【連結】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
保全額 (C)	19,513	124	△ 117	19,389	19,630
貸倒引当金	5,051	△ 101	△ 480	5,152	5,531
担保・保証等	14,462	225	362	14,236	14,099

(注)信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保全率 (C)/(A)	86.15	△ 2.34	△ 6.22	88.49	92.37
-------------	-------	--------	--------	-------	-------

6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分による引当率、保全率の状況

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況 【単体】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総与信額 (A)	6,263	10,513	5,389	22,166
担保等の保全額 (B)	4,545	6,690	2,977	14,214
未保全額 (C)=(A)-(B)	1,717	3,823	2,411	7,952
引当額 (D)	1,717	2,891	220	4,829
引当率 (D)/(C)	100.00	75.62	9.15	60.73
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	91.13	59.34	85.91

(注)信託勘定を含んでおります。

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況 【単体】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合 計
総与信額 (A)	722	5,541	10,513	16,777
担保等の保全額 (B)	652	3,893	6,690	11,236
未保全額 (C)=(A)-(B)	69	1,647	3,823	5,540
引当額 (D)	69	1,647	2,891	4,608
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	75.62	83.18
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	91.13	94.44

(注)信託勘定を含んでおります。

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況 【連結】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総与信額 (A)	6,719	10,541	5,389	22,650
担保等の保全額 (B)	4,794	6,690	2,977	14,462
未保全額 (C)=(A)-(B)	1,925	3,850	2,411	8,188
引当額 (D)	1,925	2,904	220	5,051
引当率 (D)/(C)	100.00	75.43	9.15	61.68
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	91.02	59.34	86.15

(注)信託勘定を含んでおります。

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【連結】

(単位:百万円,%)

	27年9月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合計
総与信額 (A)	741	5,978	10,541	17,261
担保等の保全額 (B)	668	4,125	6,690	11,484
未保全額 (C)=(A)-(B)	72	1,853	3,850	5,776
引当額 (D)	72	1,853	2,904	4,830
引当率 (D)/(C)	100.00	100.00	75.43	83.62
保全率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	91.02	94.51

(注)信託勘定を含んでおります。

7. 自己査定結果及び債権分類額(率)の状況【単体】

(単位:百万円,%)

	27年9月末		27年3月末		26年9月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	1,355,302	100.00	1,325,192	100.00	1,290,105	100.00
非分類額	1,227,920	90.60	1,191,417	89.90	1,152,883	89.36
分類額合計	127,381	9.39	133,775	10.09	137,222	10.63
II分類	126,579	9.33	133,249	10.05	136,853	10.60
III分類	802	0.05	525	0.03	368	0.02
IV分類	-	-	-	-	-	-

(注) 総与信残高・・・貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高であります。

非分類・・・II、III、IV分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

II分類・・・回収について通常の数値を超える危険を含むと認められる資産。

III分類・・・最終の回収又は価値について重大な懸念が存在し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

IV分類・・・回収不能又は無価値と判定される資産。

自己査定区分	償却・引当基準
破綻先債権	担保・保証等で保全されていない債権額の100%を個別貸倒引当金として計上するか、又は直接償却する。
実質破綻先債権	
破綻懸念先債権	貸倒実績率に基づく予想損失率を乗じて算定した予想損失額に相当する額を個別貸倒引当金として計上する。
要管理先債権	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を一般貸倒引当金として計上する。
その他要注意先債権	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を一般貸倒引当金として計上する。
正常先債権	

但し、DCF先、DDS先については、以下の償却・引当基準を採用する。

DCF先	対象先の将来キャッシュ・フローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を一般貸倒引当金として計上する。
DDS先	当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに予想損失率を用いて計上する。又は、資本金の劣後ローンの回収可能見込額をゼロと算定し、取得原価又は償却原価と同額を貸倒見込額として計上する。

8. 自己査定結果と開示債権との関係 【単体】

(単位:百万円)

自己査定結果(債務者区分) 対象:総与信					金融再生法 開示債権 対象:総与信	リスク 管理債権 対象:貸出金	引当金	保全率 (引当率)
債務者区分 (償却後)	分類							
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先 722	引当・担保・保証 等による保全部分 103	619	全額 引当	償却 引当	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 6,263 保全率: 100.00%	破綻先債権 720	69	100.00%
実質破綻先 5,541	引当・担保・保証 等による保全部分 2,879	2,661						
破綻懸念先 10,513	引当・担保・保証 等による保全部分 6,238	3,472	必要額 を引当 802		危険債権 10,513 保全率: 91.13%	2,891	91.13% (75.62%)	
要 注 意 先	要管理先 6,802	担保: 4,115 信用: 2,687 972	貸倒実績率に基 づく3年間の予 想損失額を引 当。資本的劣後 ローン(DDS) は全額引当。		要管理債権 5,389 保全率: 59.34%	3ヶ月以上 延滞債権 486	282	64.64% (10.49%)
	要管理先 以外の 要注意先 139,849	25,853		113,995	小計 22,166 全体の保全率 85.91%	貸出条件 緩和債権 4,902		
正常先 1,191,873	1,191,873		貸倒実績率に 基づく1年間 の予想損失額 を引当。		正常債権 1,333,136	合計 22,071	142	
合計 1,355,302	1,227,920	126,579	802	—	1,355,302	1,344,428	7,838	85.84% (59.44%)

(注)信託勘定を含んでおります。

9. 業種別貸出状況等 【単体】

(1) 業種別貸出金 【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,344,428	30,540	65,536	1,313,887	1,278,891
製 造 業	37,719	681	2,666	37,038	35,053
農 業 , 林 業	809	△ 6	36	816	773
漁 業	496	△ 4	△ 5	500	501
鉱業,採石業,砂利採取業	3,306	1,548	2,207	1,758	1,098
建 設 業	40,244	△ 1,847	△ 2,017	42,091	42,261
電気・ガス・熱供給・水道業	7,081	187	759	6,893	6,321
情 報 通 信 業	9,747	835	1,112	8,912	8,634
運 輸 業 , 郵 便 業	15,111	△ 1,494	△ 875	16,605	15,986
卸 売 業 , 小 売 業	106,299	△ 808	△ 2,988	107,107	109,288
金 融 業 , 保 険 業	28,171	1,848	1,291	26,323	26,880
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	342,913	16,541	30,875	326,372	312,038
各 種 サ ー ビ ス 業	146,846	3,853	12,989	142,992	133,856
地 方 公 共 団 体	101,042	1,059	3,112	99,983	97,930
そ の 他	504,638	8,146	16,372	496,492	488,266

(注) 信託勘定を含んでおります。

(2) 業種別リスク管理債権 【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	22,071	728	1,512	21,343	20,558
製 造 業	2,258	191	741	2,066	1,517
農 業 , 林 業	2	△ 2	0	4	2
漁 業	467	△ 6	△ 7	474	475
鉱業,採石業,砂利採取業	106	22	12	83	93
建 設 業	1,375	121	414	1,254	961
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-
情 報 通 信 業	521	△ 38	△ 80	559	601
運 輸 業 , 郵 便 業	506	△ 42	248	549	257
卸 売 業 , 小 売 業	3,290	741	828	2,548	2,461
金 融 業 , 保 険 業	7	1	0	5	6
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	3,014	△ 413	△ 721	3,427	3,735
各 種 サ ー ビ ス 業	4,758	△ 86	△ 15	4,845	4,774
地 方 公 共 団 体	-	-	-	-	-
そ の 他	5,762	239	91	5,523	5,671

(注) 信託勘定を含んでおります。

(3) 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高、不良債権残高

(単位:百万円)

		リスク管理債権ベース				
		総貸出残高	3ヶ月以上延滞先	貸出条件緩和先	延滞先	破綻先
卸売・小売業	26年9月末	109,288	4	623	1,832	1
	27年3月末	107,107	3	646	1,899	-
	27年9月末	106,299	12	860	2,396	21
建設業	26年9月末	42,261	1	39	816	103
	27年3月末	42,091	3	65	1,143	42
	27年9月末	40,244	1	22	1,303	48
不動産業	26年9月末	288,470	5	350	3,064	238
	27年3月末	300,370	19	402	2,926	7
	27年9月末	315,208	32	279	2,604	19
その他金融	26年9月末	10,917	-	-	-	-
	27年3月末	10,872	-	-	-	-
	27年9月末	13,916	-	-	2	-

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

		金融再生法開示債権ベース			
		総与信残高	要管理債権	危険債権	破産更生債権
卸売・小売業	26年9月末	112,948	627	1,519	323
	27年3月末	110,923	649	1,472	435
	27年9月末	109,938	873	1,802	627
建設業	26年9月末	43,526	41	584	335
	27年3月末	43,510	68	833	351
	27年9月末	41,748	24	943	407
不動産業	26年9月末	290,024	356	1,561	1,833
	27年3月末	301,871	421	1,687	1,333
	27年9月末	316,599	312	1,456	1,244
その他金融	26年9月末	10,922	-	-	-
	27年3月末	10,878	-	-	-
	27年9月末	13,923	-	2	-

(注) 信託勘定を含んでおります。

(4) 生活密着型ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末	27年3月末比		27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
生活密着型ローン残高	570,286 (570,990)	14,306 (14,126)	28,512 (28,285)	555,979 (556,864)	541,773 (542,704)
うち住宅ローン残高	504,589 (504,913)	13,873 (13,846)	27,348 (27,200)	490,716 (491,066)	477,240 (477,713)
うちその他ローン残高	65,696 (66,077)	432 (279)	1,163 (1,085)	65,263 (65,797)	64,532 (64,991)

(注) () 書きは信託勘定を含んでおります。

(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率【単体】

(単位:百万円,%)

	27年9月末	27年3月末比		27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
中小企業等貸出残高	1,157,447 (1,160,287)	25,229 (24,957)	61,799 (61,131)	1,132,218 (1,135,329)	1,095,648 (1,099,155)
中小企業等貸出比率	86.27 (86.30)	△ 0.10 (△ 0.10)	0.37 (0.36)	86.37 (86.40)	85.90 (85.94)

(注) () 書きは信託勘定を含んでおります。

10. 信用保証協会保証付融資【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末	27年3月末	26年9月末
信用保証協会保証付の融資残高	55,033	56,727	59,198
うち特別保証枠分	12	15	18

11. 系列ノンバンク向け融資残高【単体】

(単位:百万円)

	27年9月末	27年3月末	26年9月末
	14,529	13,786	13,111

12. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

		27年9月末	27年3月末比		27年3月末	26年9月末
			27年3月末比	26年9月末比		
預金	(末残)	1,857,346 (1,919,197)	52,711 (53,699)	64,561 (64,889)	1,804,634 (1,865,497)	1,792,784 (1,854,308)
	(平残)	1,816,577 (1,879,004)	65,580 (65,816)	74,103 (72,596)	1,750,997 (1,813,188)	1,742,473 (1,806,407)
貸出金	(末残)	1,341,588 (1,344,428)	30,812 (30,540)	66,215 (65,536)	1,310,776 (1,313,887)	1,275,373 (1,278,891)
	(平残)	1,292,858 (1,295,821)	41,391 (40,825)	56,583 (55,848)	1,251,467 (1,254,995)	1,236,274 (1,239,972)

(注) () 書きは信託勘定を含んでおります。

13. 個人、法人預金の種類別内訳(平残) 【単体】

(単位:百万円)

種類	27年9月末	27年3月末比		27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
個人預金	1,154,304	12,932	18,242	1,141,371	1,136,061
流動性預金	606,527	28,670	40,056	577,856	566,470
定期性預金	547,777	△15,738	△21,813	563,515	569,590
法人預金	562,365	35,226	43,371	527,138	518,993
流動性預金	307,044	21,962	24,879	285,081	282,165
定期性預金	255,320	13,263	18,492	242,056	236,827

(注)1. 信託勘定を含んでおります。

2. 法人預金には、公金預金及び金融機関預金は含んでおりません。

IV. 業績予想等

1. 平成28年3月期通期の業績予想 【単体】

(単位:百万円)

	28年3月期予想	27年9月期実績	27年3月期実績
経常収益	37,700	19,519	36,442
経常利益	9,200	6,146	9,942
当期(中間)純利益	6,100	4,108	6,793
業務純益	10,200	5,688	11,224
業務純益(一般貸倒繰入前)	10,600	5,735	10,852
除く国債等債券関係損益	10,200	5,381	10,610
不良債権処理額	2,004	409	1,981

(注)不良債権処理額には、信託勘定を含んでおります。

○ 業務純益について 【単体】

(単位:百万円)

	一般貸引繰入前		一般貸引繰入後	信託勘定償却前業務純益		
	除く債券損益	一般貸引繰入後		一般貸引繰入前		一般貸引繰入後
				除く債券損益	一般貸引繰入後	
平成26年9月期	4,899	4,654	4,537	4,943	4,698	4,580
平成27年3月期	10,852	10,610	11,224	10,895	10,653	11,267
平成27年9月期	5,735	5,381	5,688	5,735	5,381	5,688
平成28年3月期予想	10,600	10,200	10,200	10,600	10,200	10,200

2. 人員と店舗の状況 【単体】

(1) 人員

(単位:人)

	27年9月末	27年3月末比		27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
在籍行員数	1,122	31	0	1,091	1,122

(2) 店舗

(単位:店舗)

	27年9月末			27年3月末	26年9月末
		27年3月末比	26年9月末比		
店舗数	65 (4)	0 (0)	0 (0)	65 (4)	65 (4)

(注)店舗数には出張所も含めております。()は出張所数です。

3. 保有株式について【単体】

(1) 保有株式

(単位:百万円)

	取得原価ベース	時価ベース
26年9月末	16,459	23,071
27年3月末	17,111	27,585
27年9月末	17,002	25,103

(2) 減損処理について

(単位:百万円)

	株式等関係損益	
		うち減損処理額
26年9月期	56	0
27年3月期	167	0
27年9月期	659	7

4. 不良債権について【単体】

(1) 処理損失

(単位:百万円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額 (銀行勘定)	③不良債権処理額 (信託勘定)	総与信費用 ①+②+③
26年9月期	362	908	43	1,314
27年3月期	△ 372	1,938	43	1,609
27年9月期	46	409	0	455
平成28年3月期予想	432	2,004	0	2,437

(注)②=個別貸倒引当金繰入額、貸出金償却、債権売却損などの合計

(2) 残高

(単位:百万円)

	自己査定				
	破綻・実質破綻先 ①	破綻懸念先 ②	破綻懸念先以下 ①+②	要注意先 ③	計 ①+②+③
26年9月末	7,111	8,866	15,978	162,560	178,539
27年3月末	5,822	10,369	16,191	156,328	172,520
27年9月末	6,263	10,513	16,777	146,652	163,429

	金融再生法基準	
	要管理債権 ④	計 ①+②+④
26年9月末	4,689	20,667
27年3月末	5,254	21,446
27年9月末	5,389	22,166

(注)信託勘定を含んでおります。

(3) 最終処理と新規発生

a. 残高について

(単位:百万円)

	破産更生債権	危険債権	合計
26年9月末	7,111	8,866	15,978
27年3月末	5,822	10,369	16,191
27年9月末	6,263	10,513	16,777
27/3→27/9新規増加	981	2,888	3,870
27/3→27/9オフバランス化	1,836	1,448	3,285
27/3→27/9増減	441	143	585

(注)信託勘定を含んでおります。

b. オフバランス化の内訳

(単位:百万円)

	27年9月期実績	27年3月期実績	26年9月期実績
清算型処理	-	-	-
再建型処理	-	-	-
再建型処理に伴う業況改善	-	-	-
債権流動化	-	-	-
R C C 向け売却	-	-	-
直接償却	431	4,018	2,881
その他	2,853	5,194	3,533
回収・返済	2,051	3,864	2,792
業況改善	802	1,330	741
合計	3,285	9,213	6,414

(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

		27年9月末		27年3月末		26年9月末	
実質破綻・破綻先債権	無担保部分の	100.00%	17億円	100.00%	16億円	100.00%	25億円
破綻懸念先債権	無担保部分の	75.62%	28億円	82.93%	29億円	83.35%	21億円
要管理先債権	債権額の	4.14%	2億円	4.98%	3億円	9.46%	5億円
その他要注意先債権	債権額の	2.00%	28億円	1.81%	27億円	2.09%	32億円
正常先債権	債権額の	0.01%	1億円	0.01%	1億円	0.00%	0億円

(注)平成27年9月末の資本的劣後ローン(DDS)への転換先については、その他要注意先債権のうち16億円を引当処理しております。

(5) 不良債権比率(金融再生法基準)

(単位:%)

	25年9月期	26年3月期	26年9月期	27年3月期	27年9月期	28年3月期 (予想)
単体ベース	1.78	1.72	1.60	1.61	1.63	1%台
連結ベース	1.85	1.78	1.66	1.66	1.68	1%台